

白砂寮における講習会を用いた生活指導法

田房 友典*・濱中 俊一**

Training of Living Guidance for Students in Shirasuna Dormitory

Tomonori TABUSA* and Shunichi HAMANAKA**

Abstract: We have thought the necessity of living guidance for dormitory students, because of a decline in their morals and scholastic ability in the recent years. This paper introduces training courses of living guidance held in our dormitory (Shirasuna Dormitory). At the present, we have two training courses in Shirasuna Dormitory. One is “Introduction of the computer network”. There, the students can learn how to use computer network and get into users morals called net-etiquette. The other is “The culture lecture for the women students”. In this course, we offer the knowledge of manners in wording, greeting, cosmetics and interview for the students. We evaluated the effectiveness of the training courses by a questionnaire in 2002. The results tell us that especially for the 5th grade students who face to entrance examination of the company, these training courses are very useful.

Keyword: dormitory, computer network session, culture lecture

1. はじめに

弓削商船高等専門学校白砂寮（以下、白砂寮）は、平成16年8月1日現在で、女子棟41名（A棟、一人部屋）、男子低学年棟107名（B棟、二人部屋）、男子校学年棟134名（C棟、一人部屋）から構成されており、全校生数の約過半数の学生が寮生活をおこなっている。高専の学生寮は、設立当初から「教育寮」として、寮生の学習活動および生活を積極的に支援するために、各高専とも地域の特性を活かし独自の指導方法を持って運営している¹⁾。

伊藤²⁾は、指導寮生と寮生会役員の育成について報告している。「リーダーシップ・セミナー」という年度が変わる時期に1泊2日の指導寮生と寮生会役員の引継ぎ会を行い、リーダー達の目的意識を高めている。また、指導寮生と寮生会役員および学生寮関係教員と間で「連絡協議会」を毎月開催し、生活状況の情報交換と教員との連帯を図っている。この結果、寮生の生活状態が落ち着き、ボランティア活動などに参加するなど、自発的な行動が増えてきている。

さらに伊藤ら³⁾は、2年生になると学習意欲が極端に低減する実態を把握し、指導寮生を通じた徹底した自習時間の確保によって学習効果をあげている。また、オリエンテーション時に数学と英語の学習方法のガイダンスなどを取り入れるなどの工夫を行なっている。

岡本ら⁴⁾は、寮生の成績不振とその改善策について報

告している。1年生の寮生と通学生の数学の試験成績を比較してみると、入学時は同じ平均点であっても学年末には5%程度寮生の平均点が低い。対策として、1年生を対象とした勉強会を年21回開催した。この結果、寮生の成績が通学生の成績よりも良くなるという逆転現象が起こった。

横谷ら⁵⁾は、学習面での指導法ではないが、生活面の指導について独自の工夫を行っている。その方法は、寮内における違反行為を点数化し、警告点数の累積によって学生を管理するシステムである。また、この警告点数は、マイナス点だけでなく、寮内委員などの貢献度によるプラス点も含まれている。年度始めには、この警告点数に基づいた入寮審査も行なっている。

白砂寮では、学習指導として、自習時間を設けて自己学習する時間を強制的に作成している。生活指導においては、食堂に全員もしくは学年ごとに集め、適宜、全体指導を行っている。また、寮務主事補が適宜寮内を巡回し、個人に対して指導している現状である。

本論文は、白砂寮において生活指導の一手段として実施した講習会について報告する。白砂寮では、平成7年に学内LANが初めて設置されて以降、ネットワーク設備の充実を図ってきた。この設備を安全に運用させるために、年1回、男女1年生に対してパソコン講習会を実施している。また、女子高学年には就職面接における女性としてのマナー、女子低学年には生活指導を含めた美

* 情報工学科

** 総合教育科

容に対する正しい知識を身につけさせるための講習会を行なっている。

2. 学生寮の学習および指導体制

日常生活に置いて寮生を指導できる時間は、わずかである。表1に平日における白砂寮の日課を示す。自習時間を設けているのは、男女1、2年生だけである。高学年（3年生以上）は、自主性を重視して自習に関する特別な時間は設けていない。自習時間中は、宿直の教員が各部屋を巡回し、在室の確認や居室の清掃状況の確認などを行なっている。巡検終了後、各階ごとに割り振られた掃除当番が掃除をはじめ。掃除当番は、掃除の終了を宿直教官に報告することを義務付けている。男子低学年棟の消灯は、集中管理によって行い、女子寮の消灯は、棟内に1年生から5年生までが生活しているため、自己消灯を指導している。また、消灯時間以降の補食室の使用は禁止している。つまり、日課上、低学年は20:30から22:00の間、高学年は、22:00の巡検時しか全寮生を集めて指導することができない。

表1 白砂寮の日課

	男子低学年 (1, 2年生)	女子低学年 (1, 2年生)
自習時間	20:30-22:00	20:00-21:30
巡検時間	22:00	21:30
消灯時間	23:30*	23:30*

* 試験発表期間および試験期間は、24:00

3. 講習会の実施方法

3.1 パソコン講習会

白砂寮は、平成12年B棟改修工事により、学寮の全居室からネットワーク接続がハードウェア的に可能となった。また、ファイアウォール、ファイルサーバ、ルータ等を設置し、学寮ローカルエリアLANを構築により、これまでPC室から直接学内LANに接続していたネットワーク形態を、ファイアウォールを介し学内LANに接続する形態に変更した^{6) 7)}。このように環境を有効活用するためには、利用するユーザがパソコンの正しい利用法、ネットワークやセキュリティに関する知識を知っていなければならない。

ネットワークを有効かつ安全に利用してもらうために、平成12年度、1,2年生を対象にパソコン講習会を開催し、その後、毎年、新入生を対象に講習会を開催している。開催時間は、男女1年生の自習時間の共通の時間帯（20:30～21:30）を利用している。

実施方法は、図1に示すように寮内の学生ホールに集い、液晶プロジェクタを用いて行っている。講師は、寮内のネットワーク管理者に依頼している。講習内容は、

大まかに次の5項目について講話しており、(5)については、質疑形式で付録1に示す配布プリントに解答を記入させて、学生の意識を講習会に集中させるように工夫している。

(1) 講習会の目的

個人、寮生、弓削商船の人たちが安全・快適にコンピュータやネットワークを利用するために講習会を開催していることを説明する。

(2) パソコンの有用性

アプリケーションによって様々な用途に応用可能である。データは、加工、保存、再利用が容易できる。ネットワーク接続によって、情報は格段に多くなるが、危険性も増大する。このようなパソコンの功罪についての解説を行なう。

(3) パソコンを利用した事故や犯罪

ネットワークを利用するとき起こる可能性のあるウイルス感染に関する対処方法、通信料金、商品売買についてのトラブル、著作権に関する問題に関して解説する。また、本校であったIDの不正利用に対する事件とそのときの処分についても報告する。

(4) 学生寮のパソコン利用について

ログインやログアウトなどの必要性和飲食禁止などのPC室利用方法の説明を行う。また、白砂寮でのインターネットへ接続できる時間帯、居室からネットワークへ接続する場合の手続きの方法について説明する。

(5) パソコン利用マナーチェックと解説

次に示す6つの質問を行い、回答と解説を行っている。

- ① PC室のパソコンが空いていたが、ログインした状態であった。戻ってくる様子がないので、勝手にログアウトし、自分のIDでログインした。
- ② ②A君のIDと生年月日をパスワードとして入力するとログインできた。このままパソコンを使用した。
- ③ 自分が購入したパソコン用ゲームソフトをPC室のパソコンにインストール（コピー）して使用した。



図1 パソコン講習会実施の様子

- ④ インターネットをしていると 10 万円が当たる懸賞を発見したので応募した。
- ⑤ 3 日以内に 5 人以上にこのメールを送ると幸せになれると書いたメールが届いたので、6 人に送った。
- ⑥ インターネットショッピングで人気の靴が格安で売っていた。注文を行い、指定の口座に代金を振り込んだ。

3. 2 女子学生教養講座

女子棟は、平成 11 年度から女子学生を受け入れ、平成 15 年度に始めて女子寮で 5 年間生活した学生たちが卒業した。女子学生の教養講座は、卒業した女子学生が就職試験を控え、女性としてのマナーや言葉遣いについて真剣に考え、教員に相談した出来事がきっかけとなり、外部の講師を招き最初の講座を実施した。

講座は、次に示すように 2 テーマに分けて実施している。両テーマは、パソコン講習会と同様に寮内の学生ホールを利用している。講師は、学外から管理美容師の資格をもつ講師を招いている。

(1) 就職面接に関するマナーと言葉遣い

教養講座の対象者は、女子 4, 5 年生である。内容は、就職における面接試験を想定して、面接会場での挨拶の仕方、歩き方、椅子への座り方、姿勢などについての講習を行っている。図 2 に平成 16 年 5 月に実施した教養講座の様子を示す。同図で見られるように床に白い線を引いて歩き方の練習をしたり、学生間で面接練習をしたり実践的な講習を行っている。

(2) 生活習慣と美容の関係

教養講座の対象者は、女子 1, 2, 3 年生である。内容は、講話の題材に女性にとって興味のある「美容」について取り上げ、その中に指導項目を盛り込んでいる。例えば、講師の方は、睡眠や食事などの生活習慣が及ぼす肌への影響やタバコにおける肌への影響についての講話を行っている。実際に肌年齢を計測したり、皮膚の拡大映像を写したりし、実演を交えた教養講座を行っている。また、ティータイムを設け、低カロリーの健康的なお菓子レシピ紹介によって学生の興味を引きつけている。

4. 講習会の評価

4. 1 パソコン講習会

講習会は、これまで表 2 に示すように実施した。平成 12 年度は、寮内のサーバ構築の関係で 1 月に開催し、平成 15 年度は高速キャンパス LAN 改修工事のため、10 月に講習会を開催している。講習会の評価は、プリントを配布によるアンケート形式で行った。平成 16 年度に行った講習会の評価を図 3 に示す。アンケートは、同図の 5 項目について 4 段階の評価を記入させた（付録 1 参照）。全項目について約 90% の学生が「良い」の評価をしており、興味を持って講習会に望み、内容を理解できたと推測することができる。過去 4 回の講習会もほぼ同形式の

アンケートを行っており、結果についてもほぼ同等の内容である。なお、5 回の講習会は同じ講師が講話している。

アンケートの意見・感想の項目には、「ネットワークの危険性など初めて知った」、「ルールを守って使用したい」、「責任をもってパソコンを使おう」などの意見が記入され、講習後のパソコン利用に反映されることが期待できる結果である。

4. 2 女子学生教養講座

教養講座は、表 3 に示すように実施した。講座の評価は、パソコン講習会と同様にプリントを配布によるアンケート形式で行った。平成 16 年度 5 月に行った講座の評価を図 4 に示す。アンケートは、同図の 5 項目について 5 段階の評価を記入させた（付録 1 参照）。図 4 の横軸は、1 が最高で 5 が最低の評価を示している。アンケート結果は、全項目について約 90% の学生が最高の評価「1」を示しており、パソコン講習会と同様に興味を持って教養講座に望み、内容を理解できたと推測することができる。また、教養講座はすべて同じ外部講師が担当している。

アンケートの意見・感想の項目には、「髪染めと美容についての関係をもっと以前に知りたかった」、「来年も就職のときに開催してほしい（4 年生）」、「講師の方の連絡先などを教えてほしい」などの意見や次の教養講座の開催を希望する学生も多数おり、教養講座による生活改善の効果も期待できる。

女子学生教養講座は、少人数で行っているため学生と講師との間に親密な関係が生まれやすく、短時間の教養講座であるが、学生達が心を開いて積極的に質問する光景を見ることができた。また、講座終了後、講師の方と個人的に相談する場面なども見られたり、過去に実施した教養講座のアンケート結果の講習時間を問う回答には、「少し短い」という意見が過半数あることもあった。



図 2 女子学生教養講座実施の様子

表2 パソコン講習会の実施状況

	開催日	対象者	参加人数
12年度	1月18日	1, 2年生	84名
13年度	5月8日	1年生	68名
14年度	5月22日	1年生	69名
15年度	10月2日	1年生	53名
16年度	5月10日	1年生	76名

表3 女子学生教養講座の実施状況

	開催日	参加人数
平成15年第1回	4月14日	12名
平成15年第2回	6月23日	31名
平成16年第1回	5月12日	13名

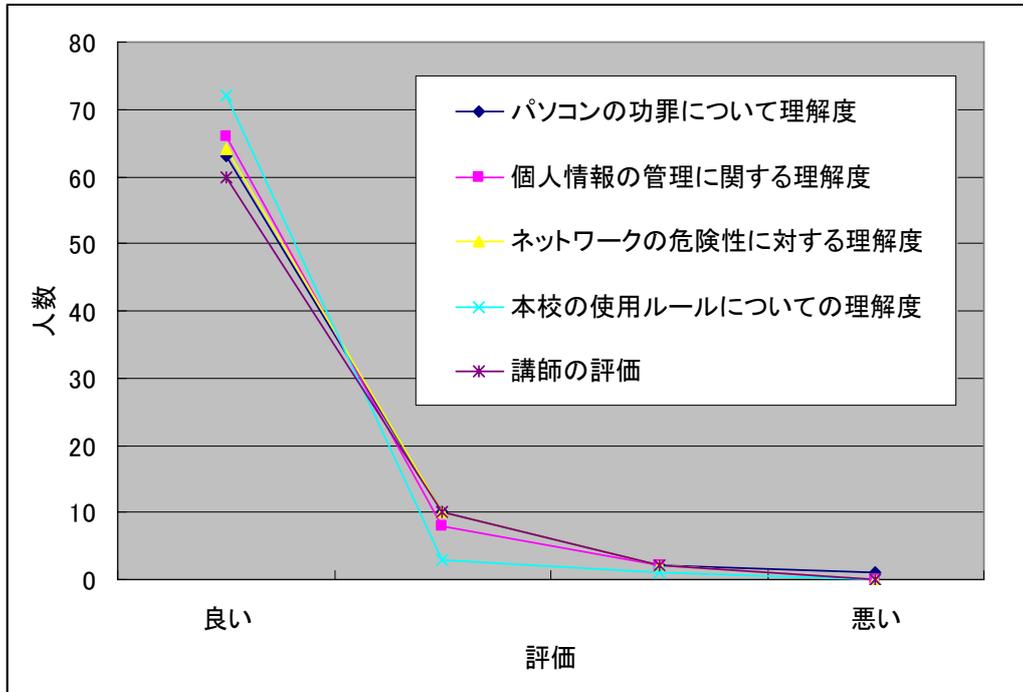


図3 パソコン講習会のアンケート結果

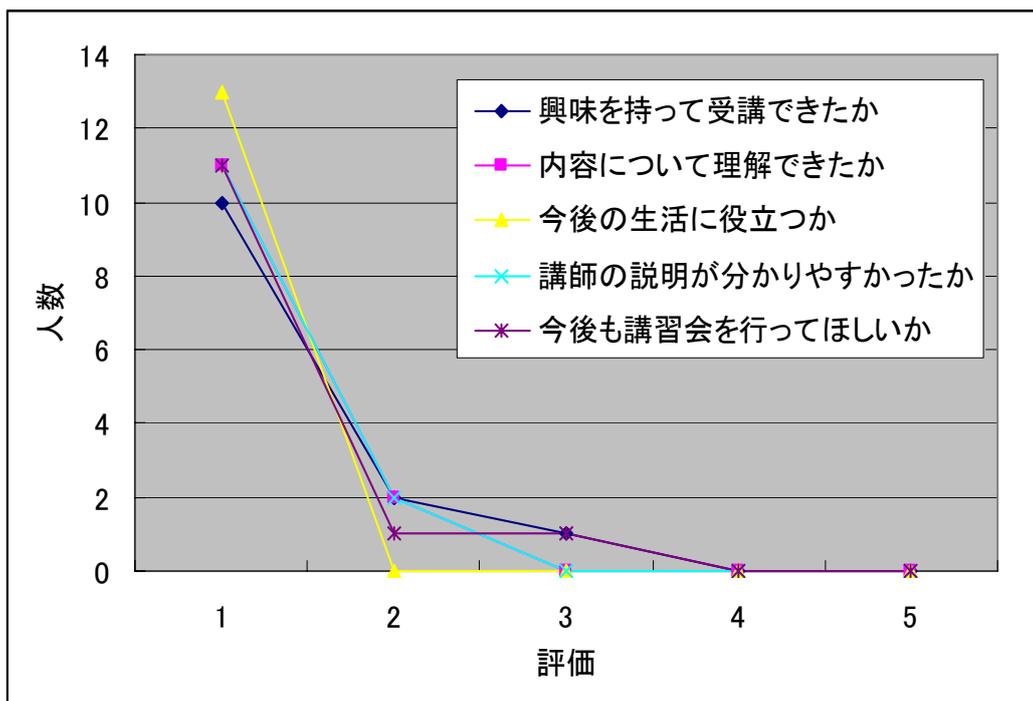


図4 女子学生寮教養講座のアンケート結果

5. おわりに

高専における「教育寮」の役割として、各高専が独自の指導方法をもって運営改善を行なっている。本論文では、平成12年度から毎年1年生に対して行なっているパソコン講習会、平成15年度から女子学生に対して年2回行なっている教養講座についての報告を行なった。講習会は、アンケートによって高い評価を得られており、幸いにも、パソコンやネットワーク接続に関連した大きなトラブルは、これまで起こっていない。現在、パソコン講習会の講師は、学寮の運営を担当する寮務主事補、女子学生の教養講座の講師は、外部からの講師を依頼している。今後の課題として、講習会や講座の継続性を考えると、講師の確保が必要である。

本来、生活習慣におけるマナーや言葉遣いは、家庭で指導すべきことでもあるが、学生寮は、15歳から20歳までの成長期の学生たちが24時間生活する環境であるため、そのような役割を果たさなければならない。約300人の学生を2、3名の教員で交互に指導している実態では、個々に規則正しい生活環境を見に付けさせたり、正に知識を与えたりすることは困難である。女子学生教養講座のように、学生たちに興味のある題材の中に指導内容を盛り込む指導法は、効果的に知識を身に付けさせることができる。また、本校のような海に囲まれた教養に関する情報が得にくい環境では、特に有用であると考えられる。

本論文で報告した講習会の実施は、「教育寮」の役割としての1つの取組みである。一般的に言われている学生のモラルの低下によって生活指導は、益々困難になってきている。また、学力の低下についても同様である。現在、白砂寮は、全学生の過半数の学生が生活しており、今後も居室を増設し、さらに多くの寮生を受け入れる体制である。学生を受け入れる施設を作るだけでなく、「教育寮」としてどのようなことを学生に指導できるか、身に付けさせることができるかが学生寮の質として評価されるのではないか。

今後、講習会や教養講座のテーマとして、パソコン講習会だけでなく、学生にとって有益になるような内容についても検討し、生活指導法の一つとして取り入れていきたい。また、学習指導は、岡本ら⁴⁾らの報告のように全教員の理解のもとで、勉強会の開催を実現に向けて検討していきたい。最後に、これらの指導は学生との信頼関係が既存した上で、初めて効果を上げることができる。寮務主事補を中心として学生と蜜に接して指導していくことを忘れてはならない。

参考文献

- [1]富沢好太郎, 齊藤正美: 高専教育と寮生活の意義, 工学教育, 51巻1号, (2003.1).
- [2]伊藤堅治: 学寮における連携指導の試み—専任寮監の立場から—, 論文集「高専教育」, 第26号, pp.537-542(2003.3).
- [3]伊藤堅治, 上松和弘, 岡崎幹郎: 「低学年寮生の学習上の悩み」の現状分析とその対応, 論文集「高専教育」, 第27号, pp.739-744(2004.3).
- [4]岡本信之, 高見昭康, 村上淳: 松江高専における寮としての役割—寮内数学勉強会を通して—, 論文集「高専教育」, 第27号, pp.543-548(2004.3).
- [5]横谷正明, 三浦和久, 里吉昭宣: 寮における警告点制度と入寮選考, 論文集「高専教育」, 第26号, pp.567-572(2004.3).
- [6]村上健二, 上江憲治, 鈴木利幸, 田房友典, 浜中俊一, 松永直也, 村上知弘, 横田臣博: 学寮の現状と課題 自己点検・評価報告書, 弓削商船高等専門学校(2001).
- [7]田房友典, 大出幸子: 学寮におけるパソコンネットワーク利用の検討と欠食届け Web の構築, 弓削商船高等専門学校紀要, 第26号, pp.35-40(2004.2).

付録1 パソコン講習会の配布c用紙

平成 年 月 日

パソコン講習会

学科 S M I 学年 1 氏名 _____

1.. パソコンマナーチェック

	回答	正解	備考		回答	正解	備考
1				2			
3				4			
5				6			

2. 評価

	はい (よい)		いいえ (わるい)	
	1	2	3	4
(1) パソコンの功罪について理解できましたか.				
(2) 個人情報の管理について理解できましたか.				
(3) ネットワークの危険性について理解できましたか.				
(4) 本校におけるパソコン利用のルールを守ることができますか				
(5) 講師の評価は?				

3. 意見・感想

付録2 パソコン講習会アンケート用紙

講習会についてのアンケート

☆当てはまるものに○を記入してください。

	はい		いいえ		
	1	2	3	4	5
興味を持って受講できた.					
内容について理解できた.					
今後の生活に役立つ.					
講師の説明がわかりやすかった.					
今後も講習会を行なってほしい.					

感想と今後望む講習内容について記入してください。